

取組事例の名称	某企業様 工場法面補強工事
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業者より段階的な工場の再開を求められたので、計画、設計、施工を迅速に行う必要があった。 ・ 稼働工場内での土工事となるため、交通事故、環境対策などに苦慮した。 ・ 工事中の降雨等に苦慮した。 	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業者からも法面が安定した状態となったと評価をいただいた。 ・ 企業者も盛土についての認識が深まり、次計画に生かしたいとの意見もいただいた。 	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土法面に対するロックボルトの効果については、その後の状況からも効果はあると考えている。施工条件が悪い場合には、積極的に採用したい。 ・ 補強土壁については、今回の震災で施工が悪い、盛土材が悪い場合には、変状を起こす事例が多々あった。当社が扱ったものでも3件程度あった。 	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の震災では、東北地方・関東の工場が被災し、世界への部品供給がストップし世界的な問題となった。土木では、造成地の盛土の扱い（高盛土を避ける、施設配置で盛土を考慮する）が問題であり、造成時に考慮すべきものと思われる。それを踏まえた建築設計も考えるべきと思われる。 	
NETIS登録	